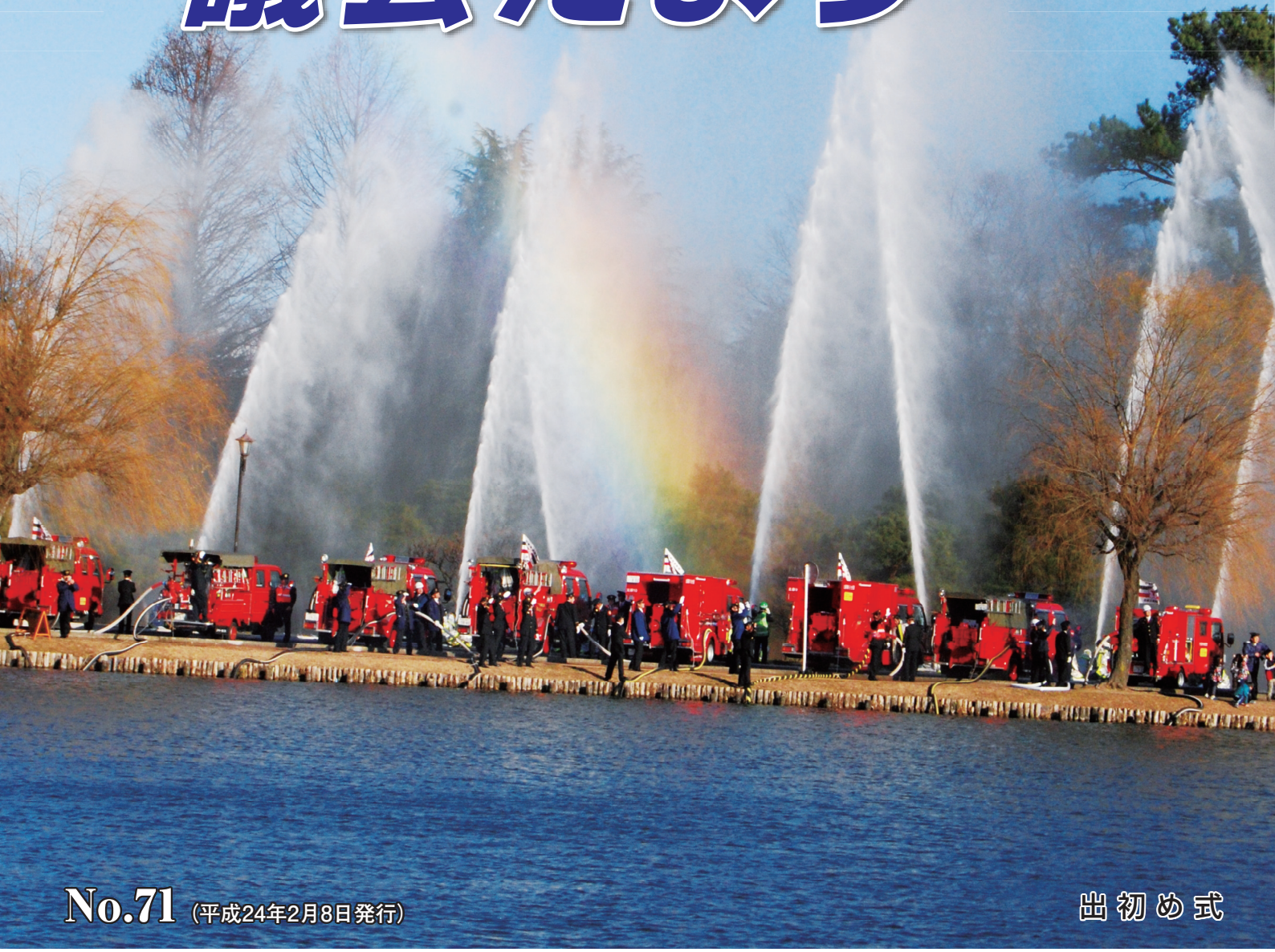




# ぎょうだ 議会だより



No.71 (平成24年2月8日発行)

出初め式

## 12月定例会日程

- 12月1日(木) 本会議(開会・会議録署名議員の指名・会期の決定、議案の上程・説明、一部採決)
- 12月5日(月) 本会議(議案の質疑・一般質問)
- 12月6日(火) 本会議(一般質問)
- 12月7日(水) 本会議(一般質問)
- 12月8日(木) 本会議(一般質問・委員会付託)
- 12月12日(月) 委員会(建設環境・健康福祉)
- 12月13日(火) 委員会(総務文教)
- 12月20日(火) 本会議(各委員長報告・質疑・討論・採決・追加議案の上程・採決・閉会)

## 本号の内容

- 市長・議員提出議案……………2
- 提出議案とその結果……………3
- 常任委員会の動き……………4
- 市政に対する一般質問…5～7
- 請願・議会日誌……………8



12月定例会

行田市勤労会館条例を廃止する条例など  
15議案を可決・認定・承認



12月定例会初日の様子

12月定例会には、市長提出議案14件、議員提出議案1件が提出され、すべてを原案のとおり可決・認定・承認するとともに、諮問1件を適任としました。

主な議案の内容と採決の結果は次のとおりです。

市長提出議案

条例  
2 施設の廃止

○行田市勤労会館条例を廃止する条例（原案可決）

勤労会館は老朽化が著しく、耐火構造になっていないことや利用者の減少により施設の効率的な運営が年々困難になっていることから、平成24年4月1日をもって当該施設を廃止するものです。



勤 労 会 館

○行田市老人ホーム大寿荘条例を廃止する条例（原案可決）

老人ホーム大寿荘は耐用年数をはるかに超える築49年の施設で建て直しが避けられず、国や県の補助が見込めない中で継続していくことは困難であること。また、入所者は少人数であり交流環境を向上させる必要があることから、平

成24年4月1日をもって当該施設を廃止するものです。

○行田市開発許可等の基準に関する条例の一部を改正する条例（原案可決）

これまで市街化調整区域での産業系施設の立地可能区域指定は総合振興計画が基になっていたが、地方自治法改正に伴い都市計画マスタープランに変更するため条例の一部を改正するものです。

算 決  
平成22年度  
一般会計決算を認定

9月定例会で継続審査とした「平成22年度行田市一般会計歳入歳出決算認定について」は、決算審査特別委員会での審査（6日間）を経て、今定例会初日に賛成多数をもって認定しました。決算の概要としては、歳入総額261億3474万7766円、歳出総額244億3132万431円で、構成比の大きなものとして歳入では市税（40・36%）、地方交付税（17・32%）、国庫支出金（11・64%）及び市債（9・99%）で、歳出では民生費（34・93%）、総務費（13・72%）、

土木費（13・11%）となっています。

補正予算  
生活保護費など補正総額  
6億448万円余り

○平成23年度行田市一般会計補正予算（原案可決）

9月補正後の諸情勢の変化に伴う各種経費の見直しに加え、緊急的な対応が必要な経費について補正措置するもので、予算の総額を257億1336万6000円とするものです。

歳出の総務費では市庁舎耐震補強工事に伴う2階部分のレイアウト変更工事の不足分を補う増額措置、貸し出し用放射線量測定器の購入費。民生費では国民健康保険事業費特別会計への繰出金、生活保護費の各種扶助費の追加措置。商工費ではプレミアム商品券の発行にあたり特典分10%の助成。土木費では総合公園プール営業中止に伴う事業費の減額措置。教育費では総合体育館の天井修繕費、市民プールの屋外幼児用プールの改修工事費などが主なものです。

なお、これらの財源として国・県支出金、地方交付税、繰越金などを見込んでいます。

## 議員提出議案

意見書  
に送付  
意見書を関係機関○(仮称) 障害者総合福祉法の早期制定を求める意見書  
(原案可決)

平成18年4月に障害者自立支援法が施行されたが、新たに導入された応益負担制度や障害者権利条約の未批准など様々な問題点が指摘されてきた。その後、政府は応益負担制度を廃止し新たに総合的な福祉法制を実現すると示し、平成23年8月に障がい者制度改革推進会議総合福祉部会において「障害者総合福祉法の骨格に関する提言」が取りまとめられたところである。障害の種類や程度、家族状況、経済力などにかかわらず、障がい者が地域で自立して暮らせる社会を実現するため、骨格提言に沿った(仮称)障害者総合福祉法の確実な成立・施行を強く要望する。また、制度を円滑に進めるためにも地方自治体の財源を十分確保するよう併せて要請する。

(提出先 衆・参議院議長・内閣総理大臣・厚生労働大臣)

平成23年12月定例会

## 提出議案とその結果

○賛成 ×反対

(市長提出議案)

議案番号	議案名	付託委員会	議決結果	会派等名					
				黎明 21 (9)	しんりよく 会 (4)	新政策研究 会 (3)	公明 党 (3)	日本共産 党 (2)	まちを住み やすくす る会 (1)
議案第45号	平成22年度行田市一般会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別	認定	○	○	○	○	×	×
議案第55号	専決処分の承認を求めるについて(平成23年度行田市一般会計補正予算(第4回))	—	承認	○	○	○	○	○	○
議案第56号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	—	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第57号	行田市税条例の一部を改正する条例	総務文教	〃	○	○	○	○	×	×
議案第58号	行田市勤労会館条例を廃止する条例	建設環境	〃	○	○	○	○	×	○
議案第59号	行田市障害者の利用に係る公の施設の使用料及び利用料金の減免に関する条例の一部を改正する条例	—	〃	○	○	○	○	○	○
議案第60号	行田市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	健康福祉	〃	○	○	○	○	○	○
議案第61号	行田市老人ホーム大寿荘条例を廃止する条例	〃	〃	○	○	○	○	×	×
議案第62号	行田市開発許可等の基準に関する条例の一部を改正する条例	建設環境	〃	○	○	○	○	○	○
議案第63号	行田市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	—	〃	○	○	○	○	○	○
議案第64号	彩の国さいたま人づくり広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について	—	〃	○	○	○	○	○	○
議案第65号	埼玉県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について	—	〃	○	○	○	○	○	○
議案第66号	平成23年度行田市一般会計補正予算(第5回)	総務文教(分割)	〃	○	○	○	○	×	×
議案第67号	平成23年度行田市国民健康保険事業費特別会計補正予算(第1回)	健康福祉	〃	○	○	○	○	×	×

(諮問)

諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて	—	適任	○	○	○	○	○	○
-------	------------------------	---	----	---	---	---	---	---	---

(請願)

議請第6号	年金受給資格期間の10年への短縮を求める請願	健康福祉	不採択	×	×	×	×	○	○
議請第7号	消費税によらない最低保障年金制度の創設を求める請願	〃	〃	×	×	×	×	○	○
議請第8号	TPP参加反対について国へ意見書提出を求める請願	建設環境	〃	×	×	×	×	○	○

(議員提出議案)

議第5号	(仮称) 障害者総合福祉法の早期制定を求める意見書	—	原案可決	○	○	○	○	○	○
------	---------------------------	---	------	---	---	---	---	---	---



# 常任委員会の動き

## ○ 審査概要 ○ 委員会活動

各常任委員会に付託された議案の主な審査内容や委員会活動などの状況は次のとおりです。

### 総務文教常任委員会

当委員会では、付託を受けた2議案について審査を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

○平成23年度行田市一般会計補正予算(第5回)について  
**問** 体育施設整備工事について、幼児用プールの改修原因と改修内容は。

**答** 市民プールの幼児用プールは、昭和48年7月の操業以来40年経過しており、ろ過器の老朽化等により汚れが底に沈殿し藻が発生している。それが原因で、側面や底にぬめりが固着し、滑り易く危険な状況のため改修するものであ



児童プール

る。

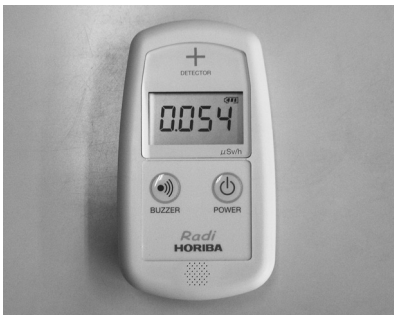
主な工事内容は、既存プールの解体及び新設、タコ滑り台の撤去、配管新設工事及び全体的な防水塗装、ろ過器の取替、プールサイドの平板ひきなおし等を行う大規模改修を予定している。また、幼児用プールは、通称タコプールとして市民に親しまれてきた経緯があることから、子どもたちが安全で楽しんでいただけるような遊具の設置を検討し、平成24年のオープンに向け改修する予定である。

### 建設環境常任委員会

当委員会では、付託を受けた2議案及び総務文教常任委員会から審査依頼を受けた1議案について審査を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

また、請願1件については不採択としました。

○平成23年度行田市一般会計補正予算(第5回)について  
**問** 購入する放射線量測定器は具体的にどのような貸出し



放射線量測定器

をする予定なのか。

**答** 貸出しの対象は、市内に住所を有する者または事業者、市内に土地や建物を有する者または事業者、自治会等の団体を考えている。平日は個人へ半日単位で貸出しを行い、測定器は5台であることから、1日あたり10件の個人貸出しが可能である。また、自治会等の団体については、広い地区内を測定することが想定されるため土曜日から日曜日にかけて、また祝日での貸出しを予定している。

### 健康福祉常任委員会

当委員会では、付託を受けた3議案及び総務文教常任委員会から審査依頼を受けた1議案について審査を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

また、請願2件については不採択としました。

○行田市老人ホーム大寿荘条例を廃止する条例について  
**問** 大寿荘を廃止するに当たり、どのような検討を重ねてきたのか。また、建て替えも検討されてきたのか。

**答** 施設の入所者数及び入所要望者の減少。築49年が経過した施設の老朽化などを理由



老人ホーム大寿荘

に廃止の方向に至った。

これまで第4期高齢者保健福祉計画策定委員会や施設検討委員会での検討において建て替えの意見は出されなかった。仮に大寿荘と同程度の施設を建て替える場合、概算で5億3700万円程度の費用が試算されることから直営に区切りをつけなければならぬとの判断があった。

なお、今後の対象者については、民間の養護老人ホームへ適正に措置し市の責任を全うしていきたい。

### 議会運営委員会

11月24日に12月定例会の運営に係る会期日程、議案及び請願の取り扱いについて協議し、その際、一般質問の発言順序をくじにより決定しました。

また、12月20日には追加議案の取り扱いについて協議しました。



# 市政に 対する 一般質問

12月定例会の一般質問は12月5日・6日・7日・8日の4日間行われ、15人の議員が市政全般に対する諸問題について質問をしました。紙面の都合上、主なものを掲載しました。なお、詳細については、2月発行予定の会議録（市役所市政情報コーナー、図書館及び地域公民館、市議会ホームページなどで閲覧可能）をご覧ください。

## 安全対策

### AEDの 操作について

松本安夫  
(黎明21)

**問** さいたま市の小学校で6年生女児が1000m走の練習中に倒れ死亡したという痛ましい事故があった。この時に学校に設置されているAEDが使用されなかったことが問題視された。使用方法を熟知することが求められるが、本市においてAED設置施設設の職員への使用講習は実施されているのか。

**答** 平成23年度末時点で公共機関に72ヶ所の設置がなされている。主な講習については消防署においてAEDの使用方法を含めた普通救命講習を年1回から2回実施しており、全ての職員が講習を終了できるように努力しているもの

である。非常時に冷静かつ躊躇せずに見えるようにするため、設置施設の職員は繰り返し受講をしている。

## 学校教育

### 運動会・体育祭の 実施時期について

香川 宏行  
(新政策研究会)

**問** 本市の小・中学校運動会・体育祭は全24校中22校が9月中旬に開催されている。9月下旬においても真夏日が続く残暑厳しい昨今、練習時の熱中症対策はどのように工夫されているのか。

**答** 全校において水分補給の徹底や休憩時間の確保のほか、できるだけ練習時間帯を午前中に設定するなどの対策を講じた。さらに、保健室にスポーツドリンクや氷を常備し、AEDを校庭近くに配置する

など万が一の場合に備えた。児童生徒の健康面を考慮し開催を1学期に移すべきと考えられているか。

**答** 学校行事は各学校の判断で計画されるが、各小学校では5・6月の実施の方向で検討している。中学校は修学旅行や諸行事の関係で9月の実施で検討している。

## 指定管理業務

### 社会福祉協議会 の事業

栗原 二郎  
(日本共産党)

**問** 行田市社会福祉協議会は来年度より居宅介護支援事業（要介護者の介護給付にかかわるケアプランの作成相談等）からの撤退を決定した。撤退する経緯とは。今後の対象者をどのようにケアするのか。また、専門職員の処遇等はどうか。

**答** 市内には社協の他に13の居宅介護支援事業所がありケアプランの作成をはじめ、デイサービスや訪問介護の実施など複合的なサービスを提供している。しかし、社協ではケアプラン作成のみのサービスであり利用者数の大幅な伸びが見込めないことから事業

継続は困難であるとのこと。今後は見守り活動等を通じた地域福祉の推進に重点を置く意向であり、その考え方を尊重したい。また、専門職こそ欠かせない人材なので適切な配置が行われるものと考えている。

## 人口減少

### 行田市の人口 減少について

高橋 弘行  
(しんりよく会)

**問** 昨年10月に実施された国勢調査を見ると、県全体では2%の人口増加率を示しているが、本市は35%の減少で県内ワースト2である。さらに、65歳以上の人口構成比率は22・4%で高齢者人口比率が県内8位と高いランクに位置している。生産人口の低下が憂慮される結果を、本市はどのように受け止めるか。

**答** 県人口が増加を続ける中で増減の二極化傾向が鮮明となってきた。人口減は税収減に直結するため市財政への影響は避けられず、個人市民税の減少や地方交付税の減少といった影響を受ける。そのため調査結果に対し、強い危機感を持って受け止めており、この先、人口対策を喫緊の課

題としてこれまで以上に強力な対策を打ち出す必要があると認識している。

## 保育園・学校給食

### 精度の高い機器 での測定を

三宅 盾子  
(まちを住みよくする会)

**問** 内部被曝は身体に入り込んだ放射性物質が放射線を出し続けるという極めて危険なものである。影響を受けやすい子どもの健康を守るためにも給食食材を精度の高い測定器で測るべきと考えられているか。すでに、精度の高いゲルマニウム半導体検出器を購入する自治体も出てきている。また、国では検査機器導入に対する補助制度や機器の貸与も決定している。

**答** 使用機器は、厚生労働省公認の放射性測定機器であり信頼性ある機器である。

**問** 不検出とは放射性物質がゼロということではない。測定の数値はどう出ているのか。  
**答** 市の水道水と比較する方法で測定している。水道水と測定食材とでメーターの針が示す読み取りの差が認められず、当測定器では、不検出となる。



地域 活性

### トップセールスで 企業誘致を

小林 友明  
(新政策研究会)

**問** 定住人口の減少により市  
税収入が減り続ける現状では、  
自主財源確保の観点からも、  
法人市民税の増収に繋がる企  
業誘致を図るべきではないか。

特に誘致に当たっては、市  
長が先頭に立って相手企業に  
出向くトップセールスが重要  
であり、促進を図るための優  
遇措置等を盛り込んだ企業誘  
致条例を速やかに制定して積  
極的に企業誘致に取り組むべ  
きと考えるがどうか。

**答** 企業誘致はご指摘のとおり  
自主財源確保に繋がり、更  
に雇用の創出や定住人口増な  
どの効果も期待できる極めて



長野工業団地

重要な施策と認識している。  
今後、県との連携を図りな  
がら、市長自らが企業訪問し  
本市の魅力を強くアピールし  
て優良企業を誘致すべく力を  
入れて取り組んでいきたい。  
条例制定は近隣市の誘致策を  
検証のうえ検討していきたい。

施設

### (仮称)桜ヶ丘公民館の 契約等について

石井 直彦  
(しんりよく会)

**問** (仮称)桜ヶ丘公民館の  
土地・建物の売買契約の過程  
及び交渉の実態について、①  
誰がいつ土地の売り出しを知  
ったのか。②交渉相手はどこ  
か。③交渉を始めた時期は。

④売り出し価格の条件は。⑤  
1億円以上の契約を専決処分  
した会議録はあるのか。⑥同  
一不動産が2009年3月に  
売り出されていたと思われる  
が調査を行ったのか。

**答** ①前候補地の交渉が不調  
に終わった後、用地担当職員  
が平成22年3月に不動産情報  
を検索している中で知り得た。  
②熊谷市に事務所を持つ不動  
産業者である。③平成22年3  
月31日に専決処分を受け、4

月から現地確認などの話し合  
いを始めた。④価格の提示は  
なかった。⑤予算要求は査定  
を通して行うもので会議録は  
ない。⑥その時点において調  
査は行っていない。

基金 事業

### 基金廃止に伴う 市への影響は

大河原 梅夫  
(公明党)

**問** 子宮頸がん等ワクチン接  
種緊急促進臨時特例基金や安  
心子ども基金、妊婦健康診査  
支援基金など、国が自治体支  
援のために創設した基金事業  
の多くが今年度限りで終了す  
る。基金事業の廃止に伴う市  
への影響は。今後事業をどの  
ようにするのか。

**答** 子宮頸がん等ワクチン接  
種については基金の有無に関  
わらず接種費用の助成を継続  
していく方針である。安心子  
ども基金については、これま  
で単年度事業で対応してきた  
ので今後の支援施策に影響は  
生じないものと考えている。  
また、妊婦健康診査の拡充実  
施は継続に向けて予算化を検  
討しているが、健診内容や回  
数など広域による統一した取

観光 行政

### 観光バス路線 の新設を

梁瀬 里司  
(黎明21)

り組みが必要となるため国や  
県の動向並びに各市町村と連  
絡を取り合いながら対応して  
いきたいと考えている。

**問** 忍城址公園内の郷土博物  
館の入館者数は、本年9月時  
点で前年度対比約1.4倍の  
増加となつている。今後、「の  
ぼりの城」の映画公開が予定  
されることで全国から多数の  
観光客が来訪すると予想され  
る。しかし、本市の公共交通  
機関は貧弱で受入れ体制は十  
分とは言えない。そこで、期  
間限定でもよいのでJRR行田  
駅から市内観光拠点を結ぶ路  
線バスを新設したらどうか。

**答** 観光協会が蓮開花期にJ  
RR行田駅から古代蓮の里まで  
シャトルバスの運行を行って  
いるが、路線途中のさきたま  
古墳公園と水城公園でも乗降  
可能としており好評を得てい  
る。平成24年度は忍城が一層  
注目されることから蓮開花期  
のシャトルバスの運行形態を  
工夫し、さらに多くの観光客

健康 福祉

### 脳卒中対策 の取り組みを

二本柳 妃佐子  
(公明党)

が訪れていたただけるよう努め  
ていきたい。

**問** 脳卒中は、がん、心臓病  
に次いで死亡原因の第3位を  
占めており、年間約13万人が  
亡くなつている。さらに、脳  
卒中は後遺症が残ることが多  
く家族の負担も過大となる。  
脳卒中を防ぐためには、生活  
習慣病予防への日常知識や注  
意すべき初期症状などの普  
及・啓発強化が必要と思われ  
る。本市ではどのような取り  
組みを行っているのか。

**答** 脳卒中は発作後できるだ  
け早く治療することがその後  
の経過に大きく作用する。症  
例が増加する冬場を迎えてい  
ることから、手足のしびれや  
急に言葉が出ないなど初期症  
状や疾患が疑われる場合の状  
態を列記し、注意を促す情報  
として市報1月号やホームペ  
ージを活用し提供したい。ま  
た、公民館を初め公共機関に  
同様の趣旨でポスターを作成  
し掲出したいと考えている。



市役所北側国道125号線

まちづくり

### 国道125号線の歩道整備は

新井孝義  
(しんりよく会)

**問** 忍城址周辺整備基本計画にある市役所北側の国道125号線の歩道整備にほとんど手がつけられていない。これまで幾度となく質問されてきたが、管理者である県に要望し働きかけているのであれば、県からどのような回答が示されたのか。その回答に対する本市の考え方は。

**答** 県に確認したところ選択と集中の観点から125号バイパス整備を優先すると見解であり、当面、市役所北側の国道歩道整備は難しいとのことだった。

しかし、利用者の安全性や

利便性の確保の必要性から粘り強く協議を重ねた結果、国道南側の側溝の段差を解消し、歩行空間を確保するための路肩整備工事を緊急的に実施する運びとなった。現在、地権者との調整を進めているところである。

防災

### 図上訓練の有効性について

東美 智子  
(公明党)

**問** 避難所ごとに実施される防災訓練は大切であるが、避難所運営を模擬体験として学べるHUG（静岡県が開発した避難所運営ゲーム）等の図上訓練は災害時の応用力を高め有効である。職員が住民とともに図上訓練を実施することを提言するが市の見解は。

**答** 長引く避難所生活においては住民自らによる避難所運営が欠かせない状況になることから、図上訓練は個々の対応や意識高揚を図る効果が期待できるものと考えている。昨年度、市内54ヶ所の避難所開設のリーダーを務める職員を対象に図上訓練を実施しスキルの習得を図ったが、円滑

な避難所環境の構築には住民の協力が欠かせない。避難所運営ゲーム（通称HUG）等の実施については自主防災組織や地域住民の参加も踏まえ検討したい。

福祉

### いきいき元気サポート制度への提言

柿沼 貴志  
(黎明21)

**問** 加速する高齢化社会の中で、いきいき元気サポート制度は支え合いの社会を構築するうえで背骨となる制度である。しかし、利用したくても利用できない方がいると思われる。1時間700円という利用料は適正なのか。サポート登録者はボランティア精神で活動している方が多く、最低でも1時間500円にするべきと考えるがどうか。

**答** 有償ボランティアとしてスタートした制度であるが、本制度をきっかけにして有償・無償を問わずみんなで支え合うという新しい絆が生まれ、誰もが安心して暮らせるようになることが重要であると考えている。本年度をもつて国からの補助金が終了する

国民健康保険

### 国民健康保険税の引き下げを

大久保 忠  
(日本共産党)

**問** リーマンショック以来、派遣切りや就職難、企業倒産などにより国民健康保険税を払えない人が増えている。こうした状況下、本市では国税の引き上げを検討し、国保運営協議会に諮っている。市民の負担は一層重くなり滞納者が増えることは明らかである。国保税の引き上げはすべきでない。市民のために引き下げるべきではないか。

**答** 医療費の適正化や保険税の収納率向上などに取り組んでいるが、一般会計からの大幅な赤字補填で収支の均衡を維持しているのが実情である。今年度、国保運営協議会において税率改正の審議を行っているが、税改正については、国・県及び近隣市の動向、さらに本年度の決算状況を見極めてたうえて慎重に対応してい

まちづくり

### 市駅の設備充実を

吉田 豊彦  
(しんりよく会)

**問** 行田市駅は中心市街地の玄関機能を持つ駅である。伝統産業の華やかな時代には本市の顔でもあった。しかし、当駅は秩父鉄道の橋上駅の中で唯一エレベーター等の昇降機が設置されていない駅である。鉄道利用者、とりわけ高齢者や障害者に配慮し設置すべきと考えるがどうか。

**答** 当駅は中心市街地や忍城址、足袋蔵などの観光スポットへの玄関口であり本市の顔の一つであると考えている。現在、車椅子の方は駅東側のスロープを使用されているが利便性向上のために駅舎のバリアフリー化など、高齢者や障害者の方にやさしい駅づくりに求められるところである。ご指摘の昇降機等の設置については、大きな課題と考えており利用者のニーズを検証するとともに関係機関に働きかけていきたい。

く必要がある。また、引き下げは難しいと考えている。



# その他の市政に 対する質問

- O A機器関連経費について
- 民間保育園・幼稚園の園舎耐震化について
- 南大通り線について
- 市民の利用料等の負担の現状と対策について
- 市立小・中学校の校庭（グラウンド）の計画的整備の実施について
- 行田市中心市街地について
- 市長の政治姿勢について
- 公害問題について
- 平成24年度予算編成について
- 人札契約制度及び結果について
- 総合運動公園の利用について
- 熱中症対策について
- 財政健全化について
- 災害に強いまちづくりについて
- 職員の職場環境について
- 行田市公式ホームページによる情報発信の充実について
- 災害時の「エリアメール」活用について
- 市民サービスの向上について
- 観光レンタサイクル事業について

- 組織の活性化と職員の育成について
- 観光行政について
- スポーツ施設について
- 地域の安心安全について
- 防災のまちづくりについて
- 震災後の行田市の対応について

## 請願

12月定例会に提出された請願は3件で、所管の委員会で慎重に審査を行い、次のとおり決定しました。（敬称略）

- 年金受給資格期間の10年へ

の短縮を求める請願（不採択）  
提出者 全日本年金者組合

行田支部

支部長 飯島 章

付託先 健康福祉常任委員会

○消費税によらない最低保障

年金制度の創設を求める請願

（不採択）

提出者 全日本年金者組合

行田支部

支部長 飯島 章

付託先 健康福祉常任委員会

○TPP参加反対について国

へ意見書提出を求める請願

（不採択）

提出者 行田地区労働組合

協議会

議長 三宅典之

付託先 建設環境常任委員会

## 議員表彰

知事表彰に吉田豊彦議員  
市議会議員として永年にわたり地方自治に貢献されたことにより、吉田豊彦議員が昨年11月14日の「県民の日」記念式典において埼玉県知事から表彰されました。



謝辞を述べる議員

## 編集後記

市民の皆様には健やかに新春を迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。  
12月定例会、一般会計補正予算歳出において、市民貸出し用放射線量測定器購入費用やプレミアム商品券助成金等活発な審議が行われました。

さて、今年は秋に「のぼうの城」の映画公開が予定され、行田市が全国から注目される年になります。市議会といたしましても、皆様の負託にこたえられるよう、また、行田市飛躍の年になりますよう心新たに努めて参りますので、本年もよろしく願います。（梁・三・新）

## 議会日誌

### 11月

- 2・18日 決算審査特別委員会
- 14日 幹事長・代表者会議
- 15日 愛知県知立市行政視察来庁
- 24日 議会運営委員会

### 12月

- 1～20日 12月定例会
- 5・7・8・20日 幹事長・代表者会議
- 8日 議会だより編集委員会
- 20日 議会運営委員会
- 26日 人権問題研修会

### 1月

- 24日 議会だより編集委員会
- 25～26日 議会運営委員会行政視察（三重県伊勢市・松阪市）

## 編集委員

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 小林 友明  |
| 副委員長 | 高橋 弘行  |
| 委員   | 三宅 盾子  |
| 委員   | 梁瀬 里司  |
| 委員   | 新井 教弘  |
| 委員   | 柿沼 貴志  |
| 委員   | 大久保 忠  |
| 委員   | 二本柳妃佐子 |
| 委員   | 吉田 幸一  |

次の議会は3月定例会です。  
初日は2月28日(火)を予定しています。